セイキの横引きロール網戸

88093302B

出入口用 網戸屋一番 取付説明書

このたびは、「網戸屋一番」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取付作業前に本書をよくお読みいただき、正しく取付けを行ってください。誤った方法で取付けると、思わぬケガをする恐れがございますので、本書の説明・注意事項をお守りください。
※説明書のイラストは実物と異なる場合があります。

●安全に正しく取付けるために

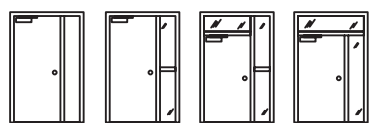
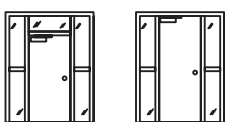
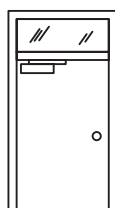
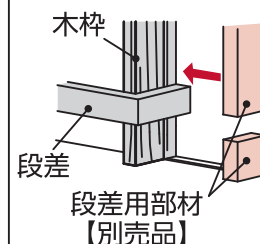
絵表示	意　　味
⚠	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。
❗	「必ず行っていただく事」を示しています。
✋	作業上、操作上の勘所を示しています。

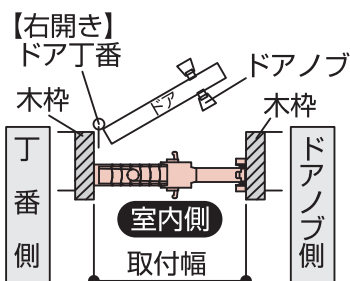
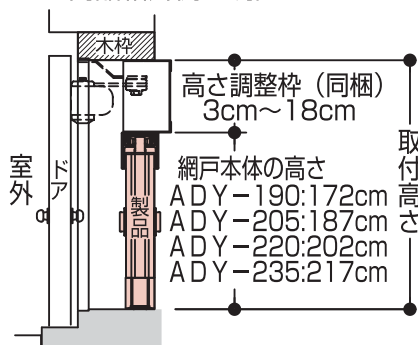
右記ＱＲコードより、取付方法の動画と商品の詳細をご覧いただけます。
PC用URL
http://www.amido.jp/product/amidoya_ichiban/

取付前の確認 ①

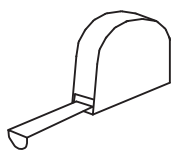
■ドア形態の確認

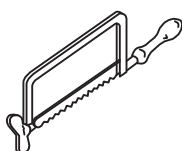
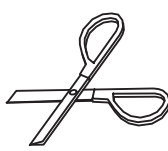
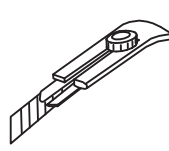
本製品を取付前に、ドアの形態の確認を行ってください。
形態によっては、オプション部材（別売品）が必要な場合があります。

以下形態のドアの場合

ランマ付きドアの場合

木枠に段差がある場合

■取付可能寸法の確認

本製品を取付ける前に、「取付高さ」および「取付幅」が取付可能寸法内かどうかを確認してください。
※商品箱外側に明記されています。

品　番	取付高さ（cm）	網戸本体の高さ（cm）	幅（cm）
ADY−190	175～190	172	55～94
ADY−205	190～205	187	
ADY−220	205～220	202	
ADY−235	220～235	217	

■必要工具の確認

本製品の取付には、以下の工具が必要です。

メジャー

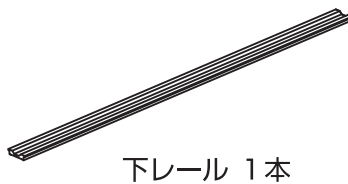
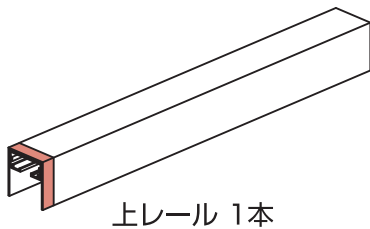
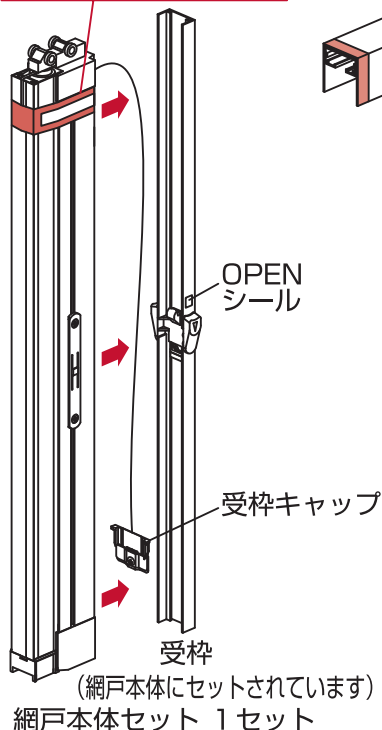
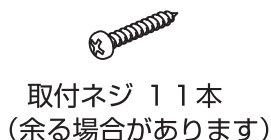
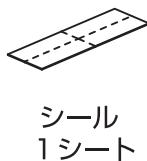
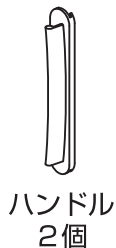
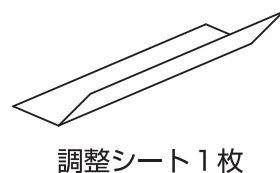
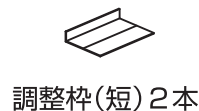
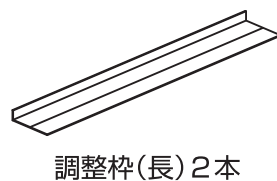
プラスドライバー

金ノコ

ハサミ

カッターナイフ

脚立又はふみ台

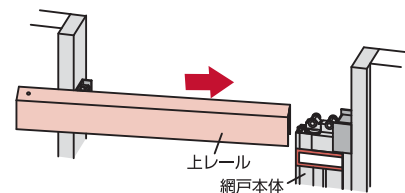
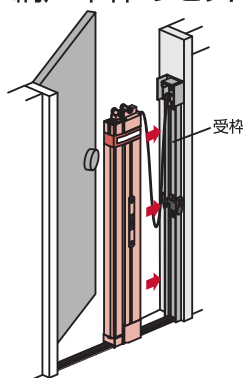
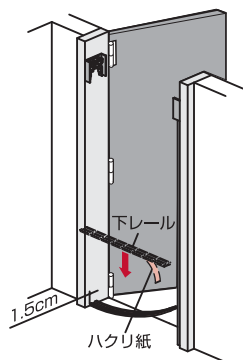
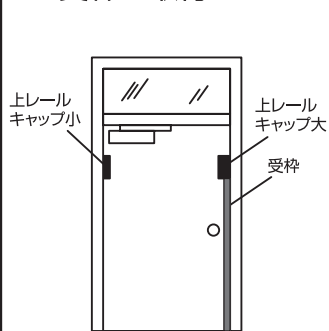
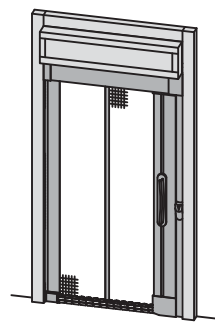
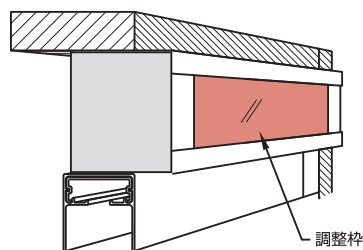
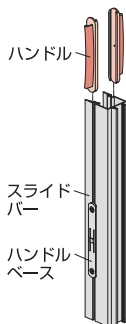
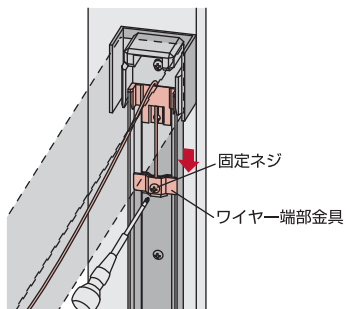
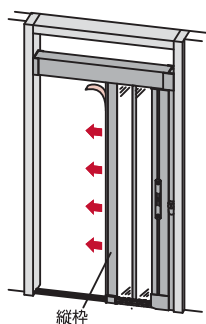
ペン

取付前の確認 ②

■セット内容の確認

商品に以下の部材が梱包されているかをご確認ください。

取付手順 ①取付の流れの確認

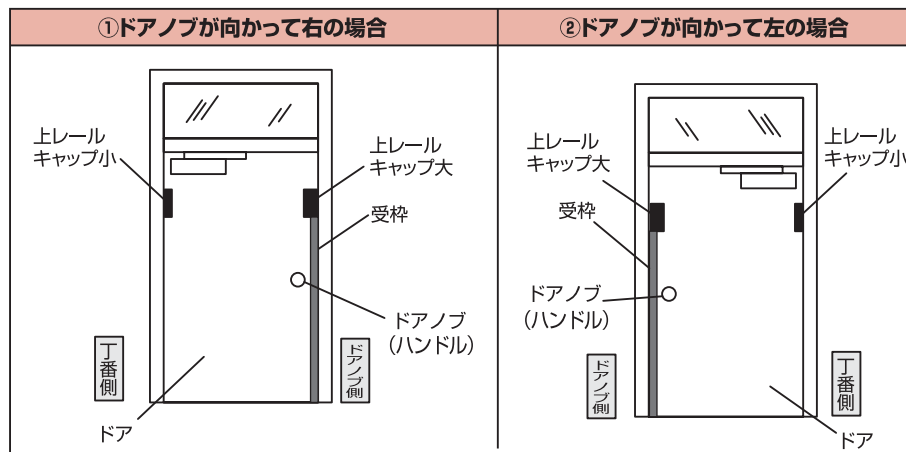
※オプション部材（段差用部材・補助支柱）がある場合は、本製品を取付ける前に予め取付けてください。

①上レールキャップ・受枠の取付 → ②下レールの取付 → ③受枠キャップ 網戸本体のセット → ④上レールの取付

⑤縦枠の取付 → ⑥ワイヤー調整 → ⑦ハンドルの取付 → ⑧調整枠の取付　完成

取付手順 ②上レールキャップ・受枠の取付

2-1 オプション部材の取付

段差用部材及び補助支柱が必要な場合は事前に取付けてください。
取付方法の詳細については、各取付説明書をご参照ください。

2-2 上レールキャップ（小）の取付（丁番側）

上レールキャップ・受枠の設置場所完成図（室内側から見たドア正面図）

＊この取付説明書のイラストは、室内側から見て「①ドアノブが向かって右の場合」について描かれています。
「②ドアノブが向かって左の場合」はイラストの左右が反転しますのでご注意ください。

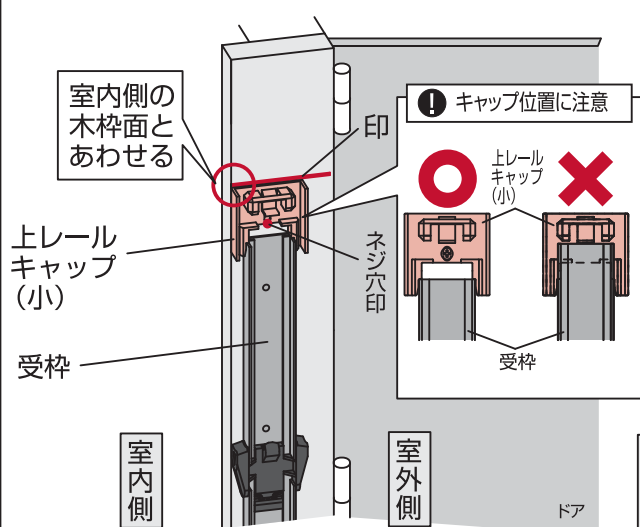



図2-2-1

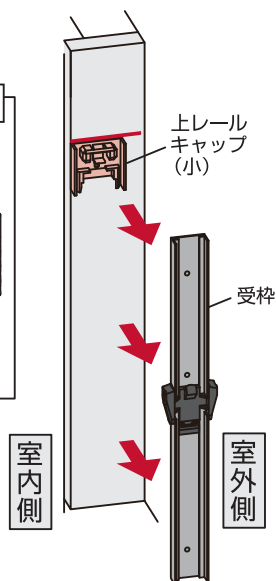



図2-2-2

①**丁番側**の木枠に「受枠」をあてがい、その上に「上レールキャップ（小）」をセットし、キャップ上部及びネジ穴に印をつけてください（図 2-2-1）

※この時、「上レールキャップ（小）」を室内側の木枠面にあわせてセットしてください。

②印を付けたら、「受枠」をいったん外してください。（図 2-2-2）
※「受枠」は固定しません。

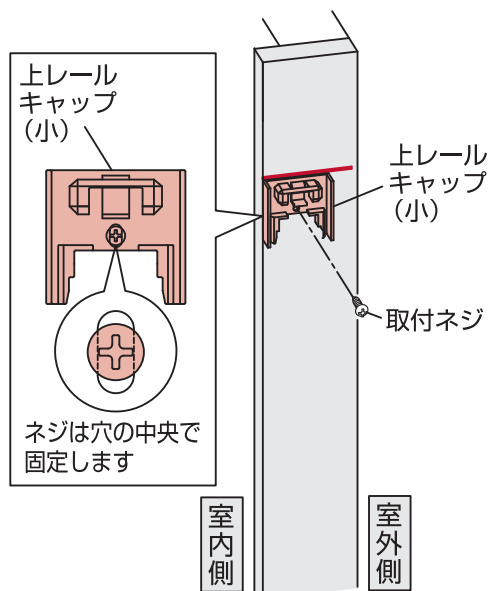
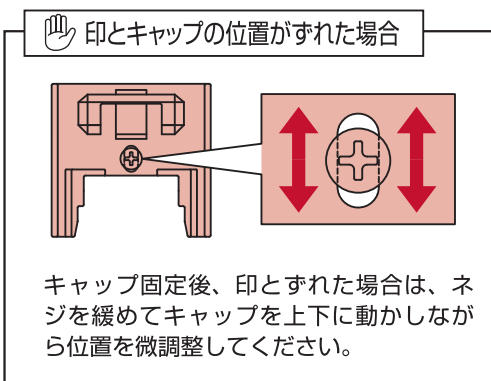
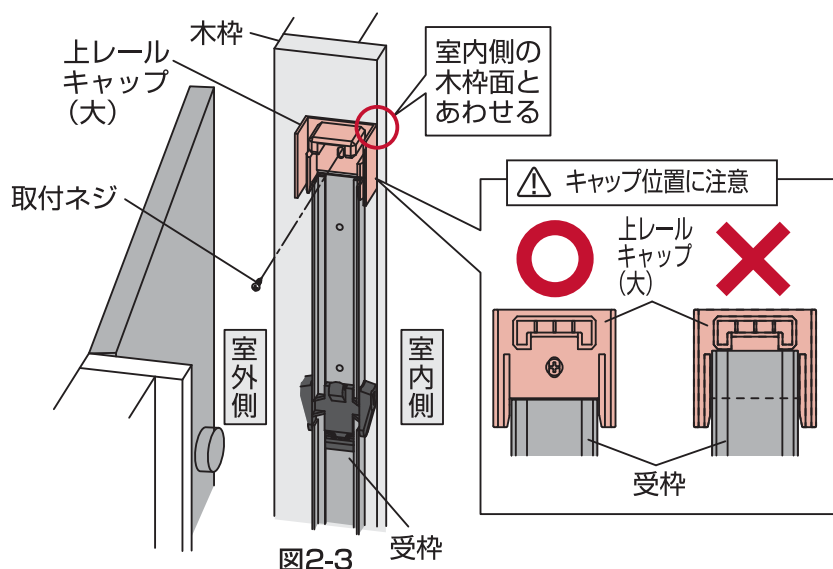



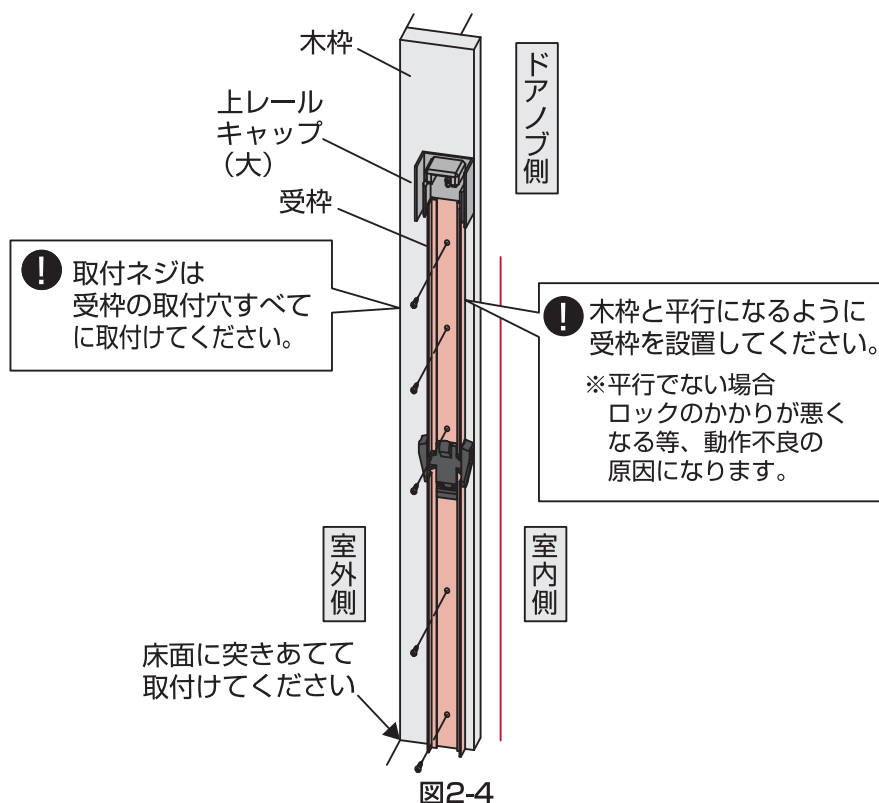
図2-2-3

③「上レールキャップ（小）」上部を印とあわせ、取付ネジで固定してください。（図 2-2-3）

キャップ固定後、印とずれた場合は、ネジを緩めてキャップを上下に動かしながら位置を微調整してください。

❷-3 上レールキャップ（大）の取付（ドアノブ側）

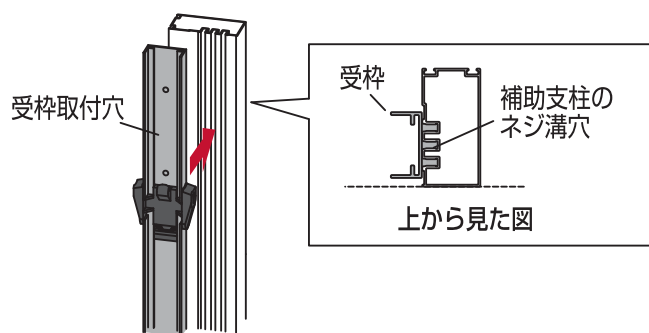
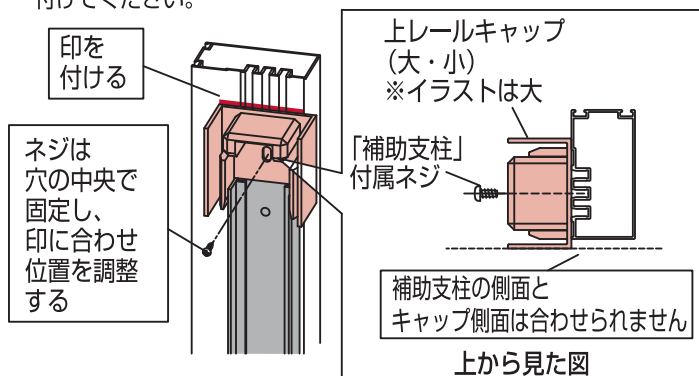
図2-3

ドアノブ側の木枠に「受枠」をあてがい、その上に「上レールキャップ（大）」をセットして、❷-2上レールキャップ（小）の取付と同じ要領で取付ネジで固定してください。（図 2-3）

❷-4 受枠の取付（ドアノブ側）

図2-4

「受枠」を**ドアノブ側**の「上レールキャップ（大）」にあわせて、取付ネジで固定してください。（図 2-4）

※「補助支柱」をご使用の場合は、「補助支柱」付属ネジを使用して固定してください。

「補助支柱」（別売品）を使用する場合

❶「補助支柱」に「受枠」をあててください。
このとき「補助支柱」のネジ用溝と「受枠」の取付穴を合わせてください。

❷「受枠」に「上レールキャップ（大・小）」をセットしキャップの上に印をつけ、必ず「補助支柱」付属ネジを使って取付けてください。

取付手順 ③上下レールと本体の取付

3-1 取付場所の採寸

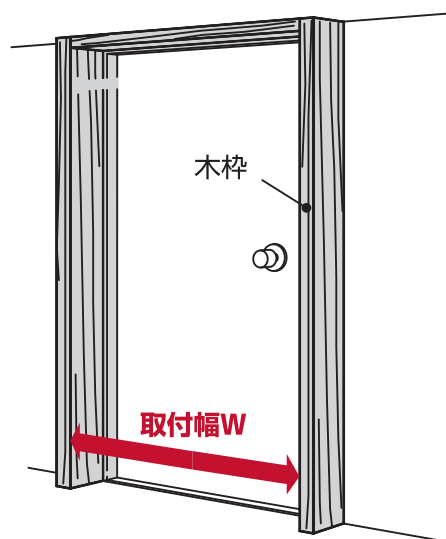



図3-1-1

網戸を取付ける木枠幅を下側を測り「**取付幅 W**」としてください。（図3-1-1）

3-2 下レールの切断

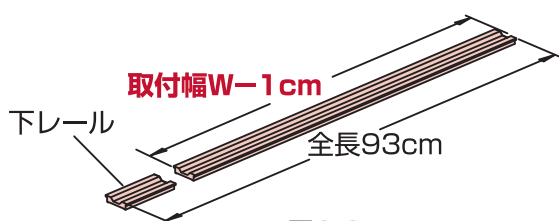



図3-2-1

下レールを「**取付幅W－1ｃｍ**」に切断してください。（図3-2-1）

下レールの長さ＝取付幅W－1ｃｍ
(例) 取付幅W=90cm 下レールの長さ=90cm−1cm=89cm

※切断したレールは取付幅Wより1ｃｍ短くなります。

3-3 下レールの設置

図3-3-1

丁番側
室内側
1.5cm
図3-3-2

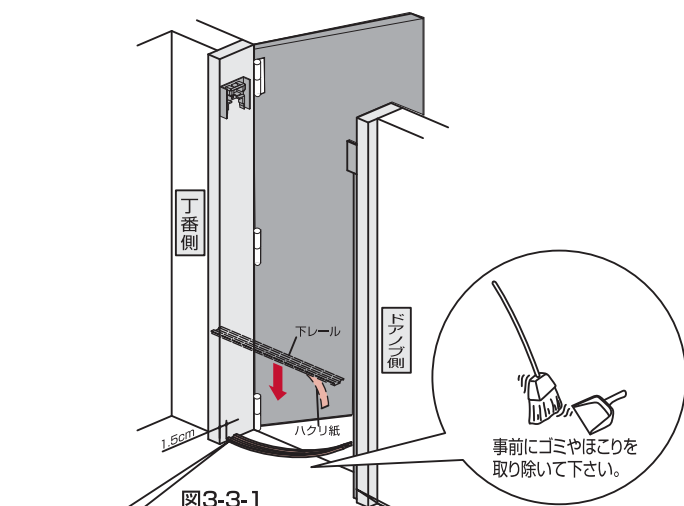
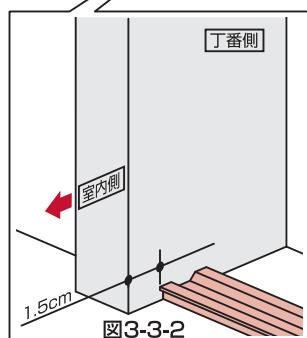
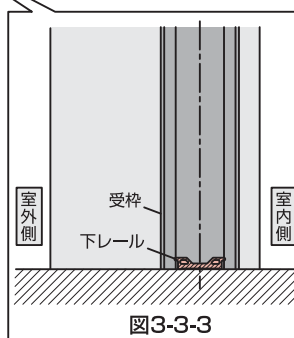
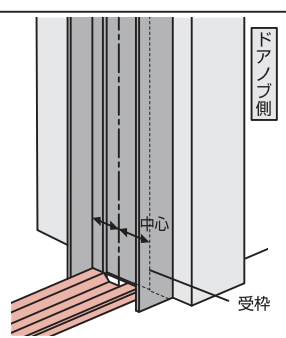



図3-3-3

①「下レール」を貼付ける面を綺麗にしてください。

> **!** 必ず、ゴミやホコリを十分に取り除いてください。
> 「下レール」が外れる原因になります。

②「下レール」の両面テープのハクリ紙をはがして、「下レール」を丁番側の木枠に突き当てて、木枠の端から 1.5cm の位置に貼付けてください。(図 3-3-1)(図 3-3-2)

③ドアノブ側は受枠の中央に貼付けてください。（図 3-3-3）

3 -4 受枠キャップの取付

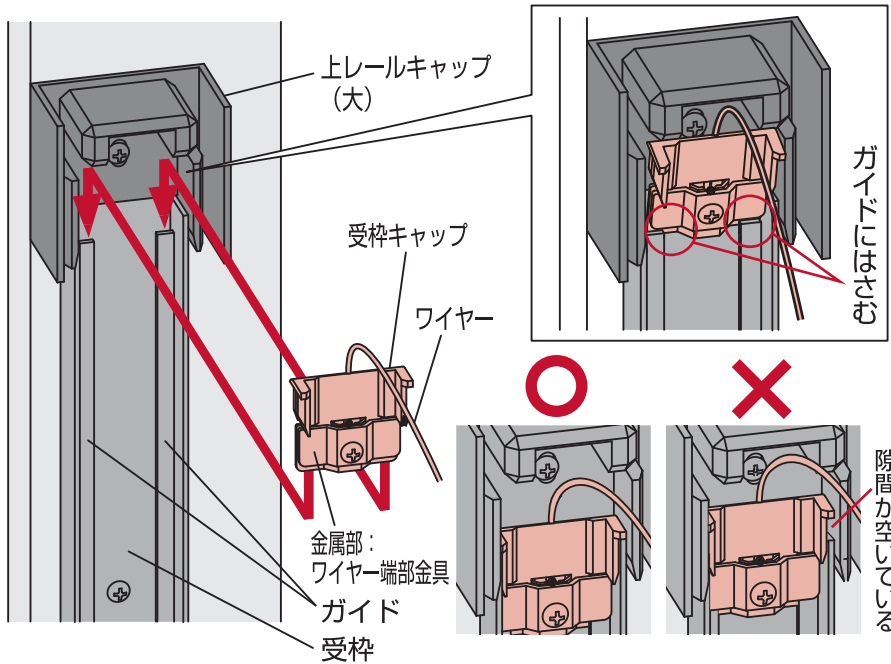



図3-4-1

受枠キャップ下部のワイヤー端部金具を、受枠の上部から左右のガイドを２枚のワイヤー端部金具で挟み込むようにはめ込んでください。（図 3-4-1）

取付ける際、ワイヤーが切れたり絡まないようにご注意ください。（図 3-4-2）

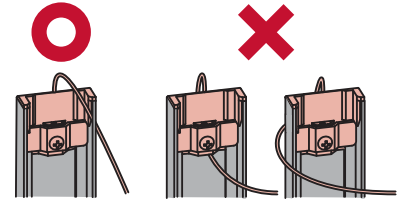



図3-4-2

※入りづらい場合は14ページトラブルシューティングをご覧ください。

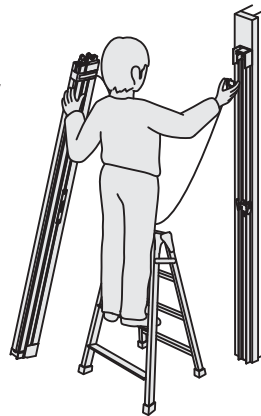
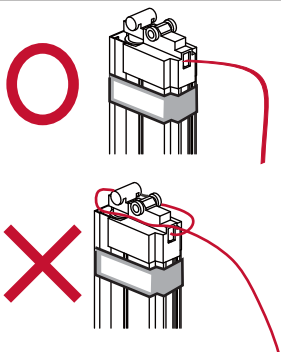
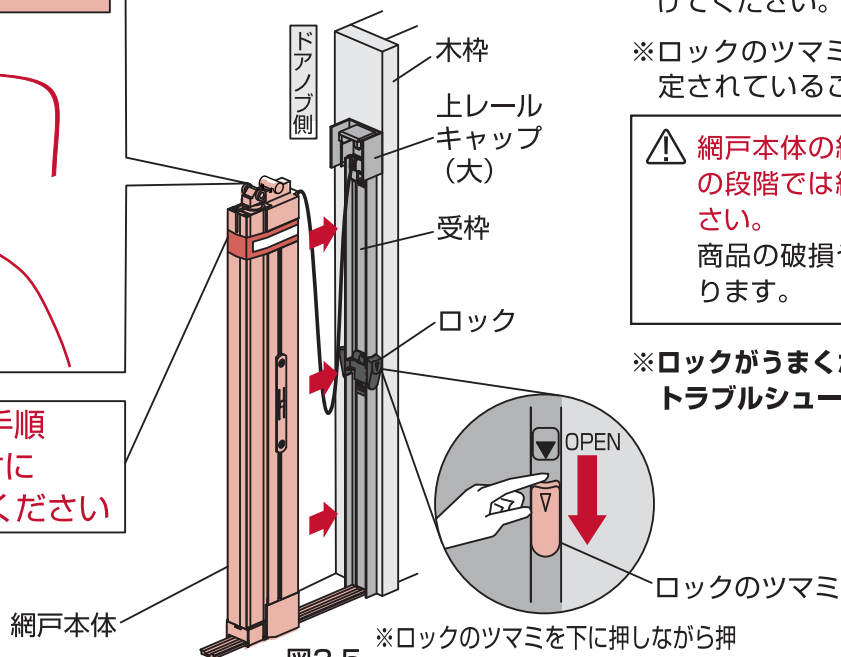



図3-4-3

取付ける際は、脚立又はふみ台を使用して作業箇所と同じ目線で作業ををしてください。（図 3-4-3）

3 -5 網戸本体の取付

図3-5

ロックのツマミを下に押しながら網戸本体をドア側の受枠に押し当てて、ロックをかけてください。（図 3-5）

※ロックのツマミをはなした後、本体が固定されていることを確認してください。

網戸本体の結束テープは、この手順の段階では絶対にはがさないでください。
商品の破損や、ケガをする恐れがあります。

※ロックがうまくかからない場合は15ページトラブルシューティングをご覧ください。

❸ -6-1 取付場所の採寸

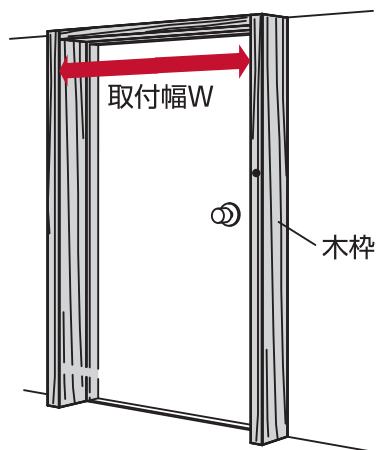



図3-6-1

網戸を取付ける木枠幅の上側 を測り、「**取付幅 W**」としてください。（図3-6-1）

❸ -6-2 上レールの切断

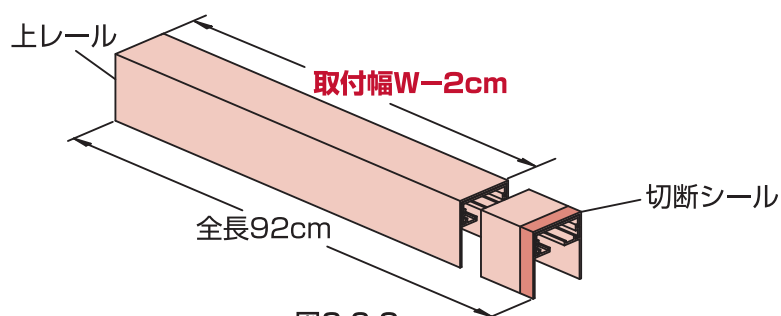



図3-6-2

上レールを「**取付幅Ｗ－２ｃｍ**」で切断してください。（図3-6-2）

上レールの長さ＝取付幅Ｗ－２ｃｍ
(例) 取付幅W=90cm 上レールの長さ=90cm−2cm=88cm

※切断した上レールは取付幅Wより2cm短くなります。

! 必ず切断シール側を切断してください。

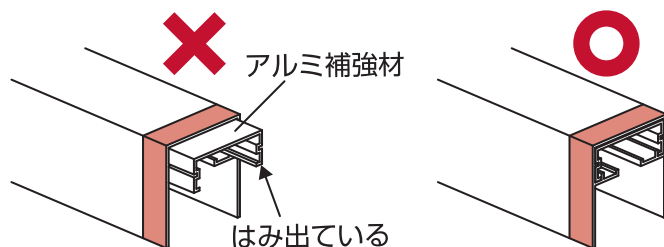



図3-6-3

! 上レールとアルミの補強材がずれて飛び出している場合は、もとにもどしてから採寸、切断してください。（図3-6-3）

切断のポイント

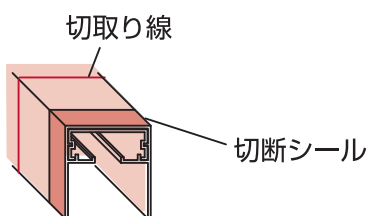
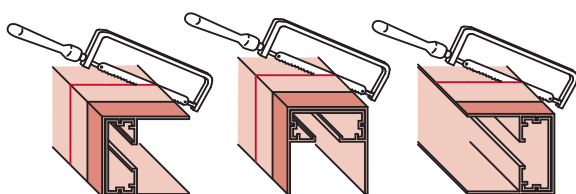
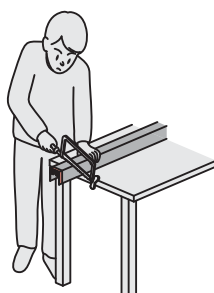



図3-6-4　図3-6-5　図3-6-6

① 各面に切り取り線を引いてください。（図3-6-4）

② 切断は１面ずつ順番に切断してください。（図3-6-5）

⚠ 刃物は、正しい使用方法で十分注意して使用してください。

③ 切断作業は、作業台などの上でレールをしっかりと押さえて行ってください。（図3-6-6）

切断作業中に金ノコが重く感じる場合は、潤滑スプレーを切り口に吹きかけると切断しやすくなります。
※作業後、吹き付けた油分はふき取ってください。

3 -7 上レールの取付

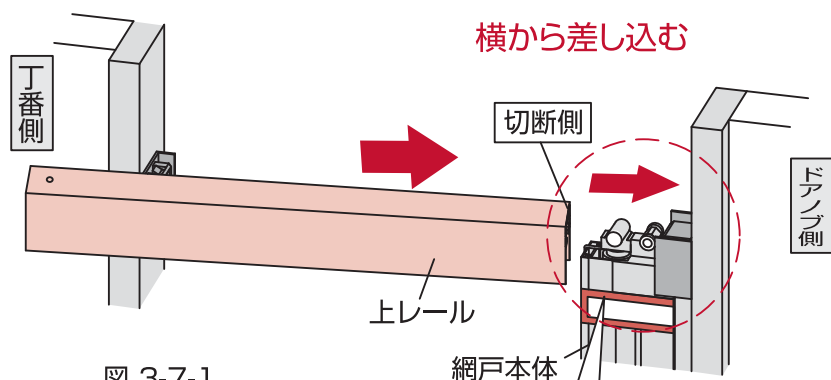



図 3-7-1

① 「上レール」を切断側から網戸本体上部に横から差し込んでください。
上レールを傾けながら本体戸車に差し込んでください。（図3-7-1）

⚠「上レール」を差し込む位置に十分注意してください。（図 3-7-2）

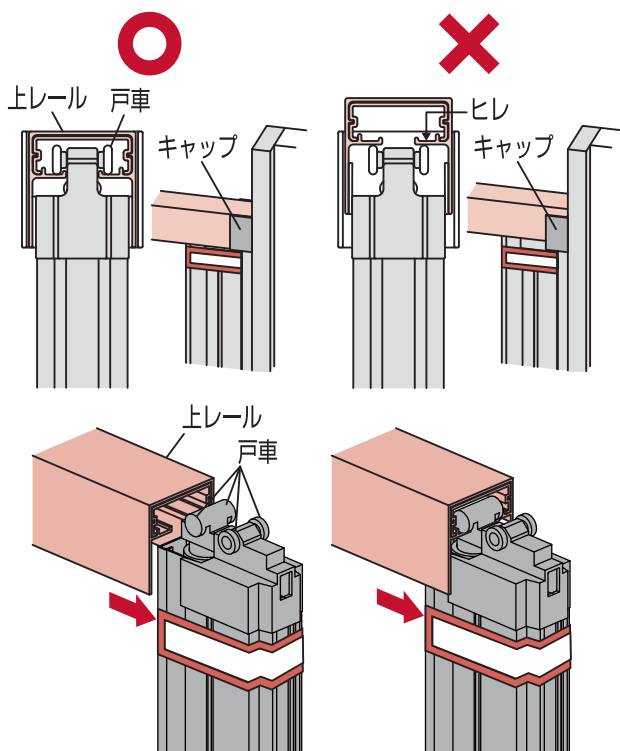



図 3-7-2

「上レール」がうまく差し込めない時は脚立又はふみ台を使い、目線を取付け位置と合わせて作業をおこなってください。（図 3-7-3）

⚠ 脚立又はふみ台の使用時、落下には十分注意をしてください。

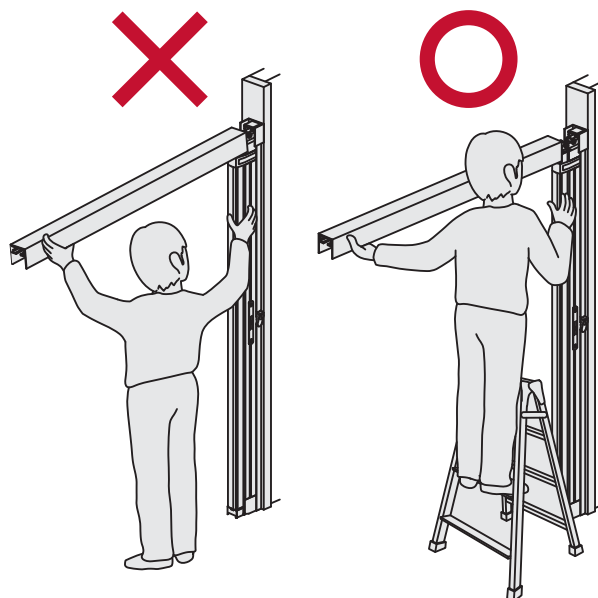



図3-7-3

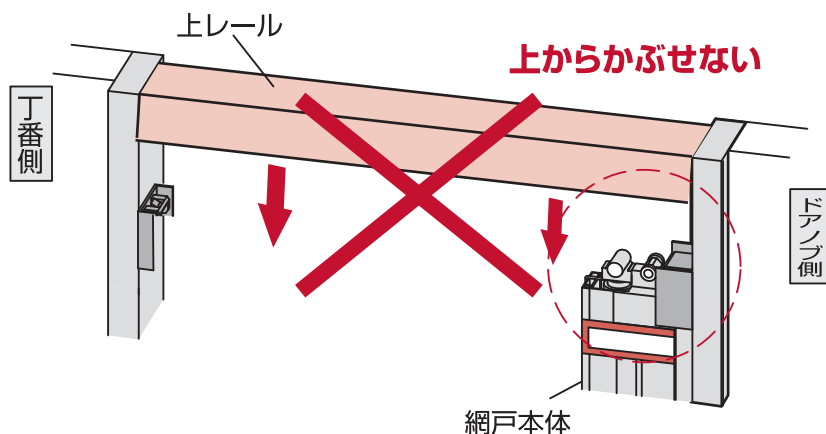
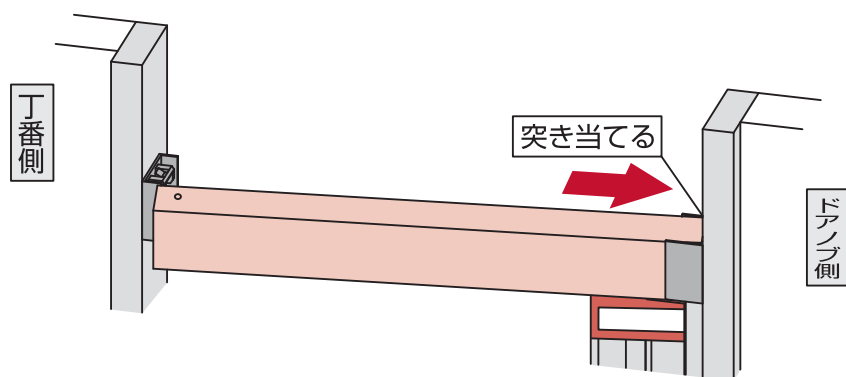
⚠ 上レールは絶対に上からかぶせないでください!!

②上レールキャップ（大)」まで確実に差し込んでください。（図3-7-4）

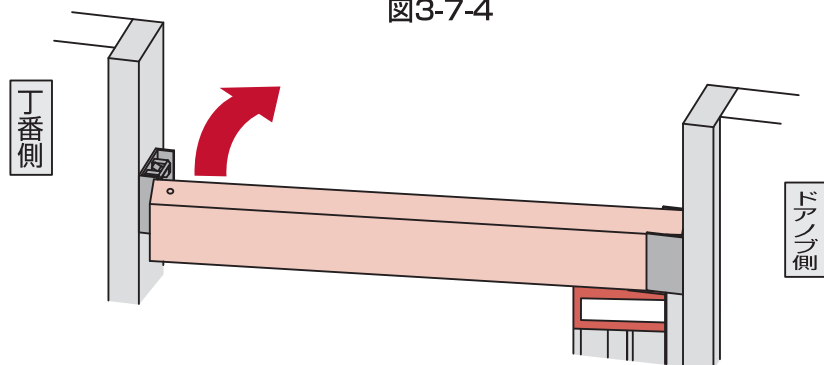
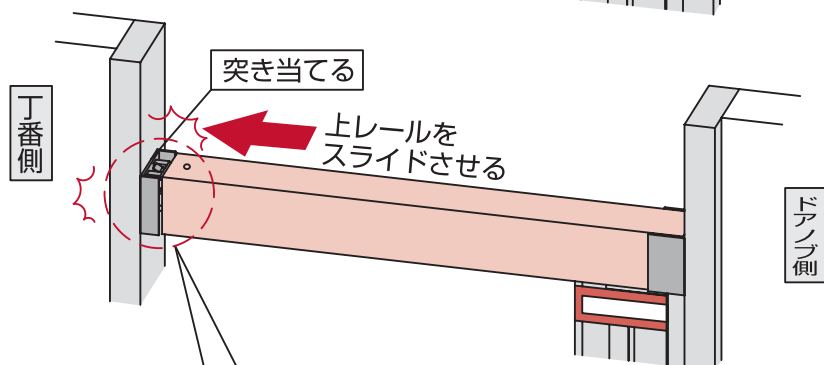
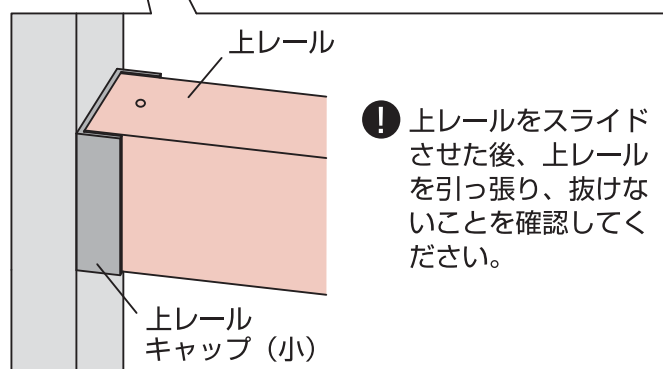
図3-7-4

③「上レール」のもう一方の端を「上レールキャップ（小)」の方へスライドさせてください。この時、「上レール」を丁番側木枠までしっかりと突き当ててください。（図 3-7-5）

図3-7-5

❗ 上レールをスライドさせた後、上レールを引っ張り、抜けないことを確認してください。

※上レールキャップ（小）から上レールを外す場合、15ページのトラブルシューティングをご覧ください。

3 -8 回転防止ピンの取り外し

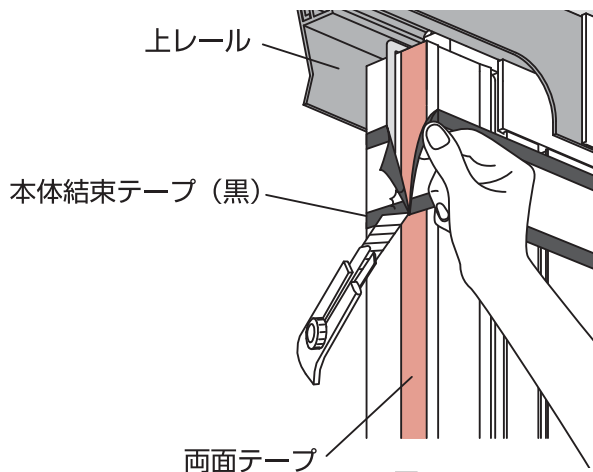



図3-8-1

①網戸本体結束テープを両面テープの上でカッターで切り込みをいれて、はがしてください。（図 3-8-1）

カッターで両面テープの上を切ることにより、網戸本体にキズがつくことを防ぐことができます。

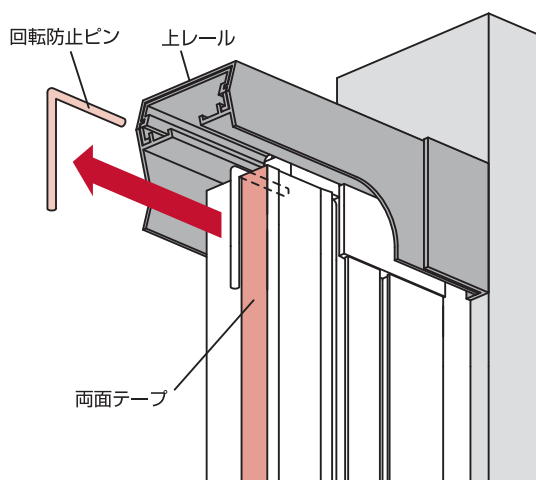



図3-8-2

②網戸本体上部に取付いている回転防止ピンを引き抜いてください。（図 3-8-2）

⚠ 回転防止ピンを抜いた後に絶対に網戸本体から上レールを外さないでください。本体のスプリングが解放され危険です。

3 -9 縦枠の取付

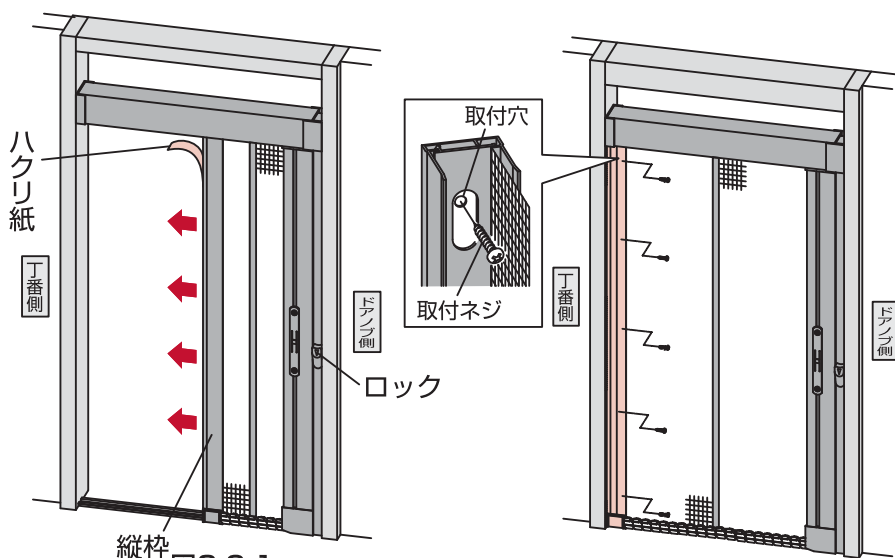



図3-9-1　図3-9-2

縦枠の上から取付けてください。

①「縦枠」の両面テープのハクリ紙をはがして、「縦枠」を丁番側の木枠までスライドさせてしっかりと貼付けてください。（図 3-9-1）

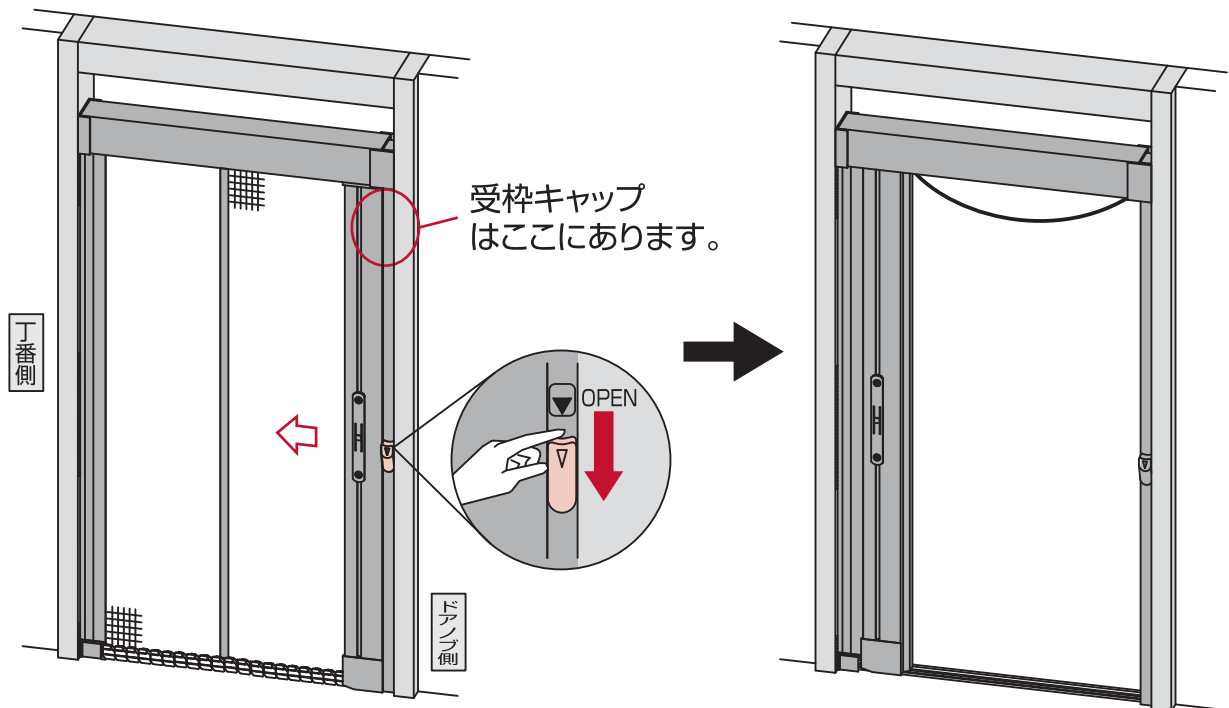
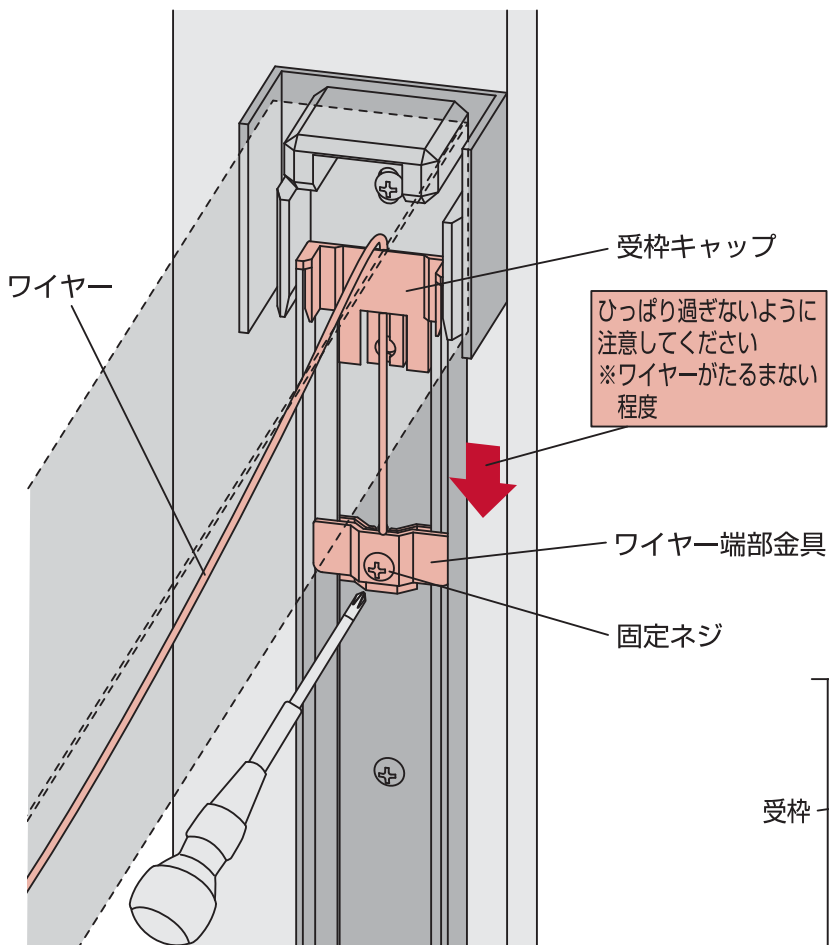
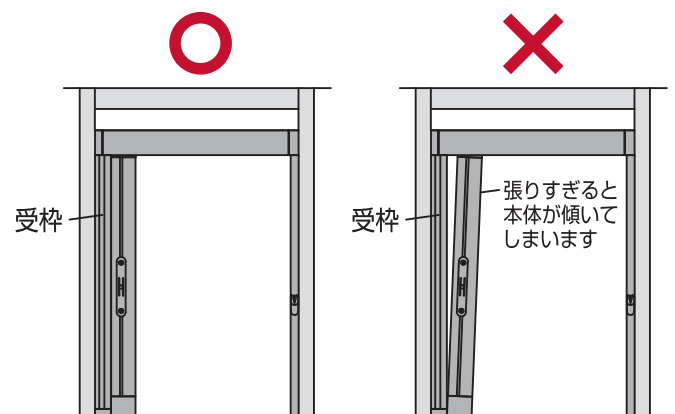
ロックは外さないでください。

引き出す際は、両手でまっすぐに引き出してください。

②「縦枠」を丁番側の木枠にしっかりと貼付けて、取付ネジで固定してください。（図 3-9-2）

※ドアノブが左側にある場合は網戸を開けて反対側からネジをとめてください。

縦枠は床と垂直になるように固定してください。

取付手順 ④ ワイヤーの調整

取付手順 ⑤ハンドルの取付・作動確認

5 -1 ハンドルの取付

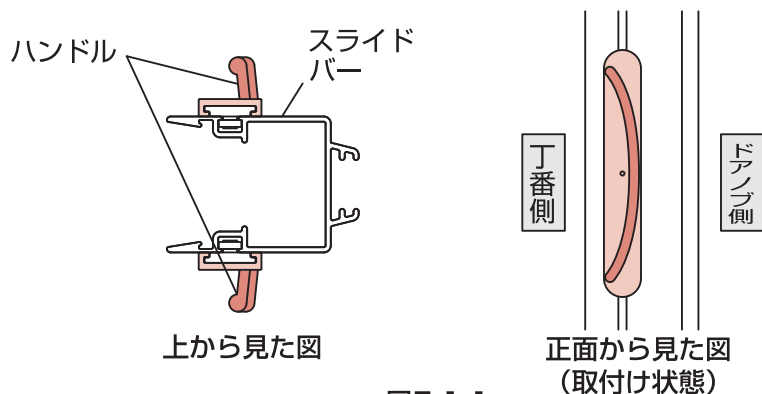



図5-1-1

①ハンドルの向きに注意して、室内外両側のハンドルベースに「ハンドル」を取付けます。（図 5-1-1）

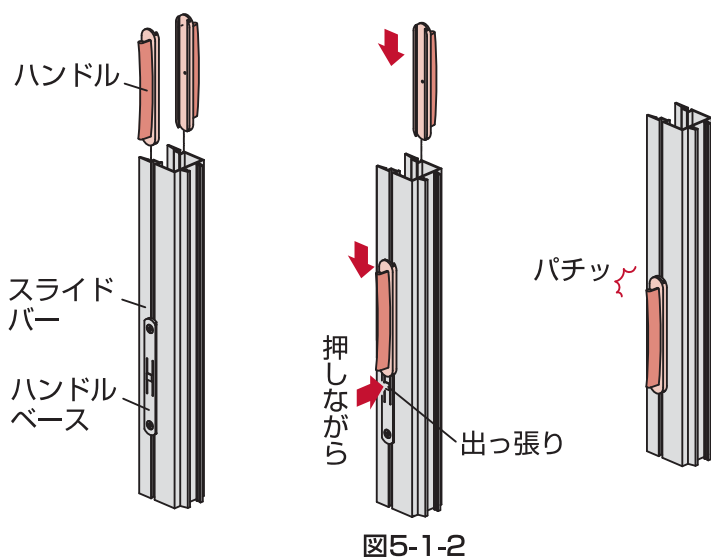



図5-1-2

②ハンドルベース中央の出っ張りを押しながら、「パチッ」と音がするまでスライドさせてください。（図 5-1-2）

---

5 -2 作動確認

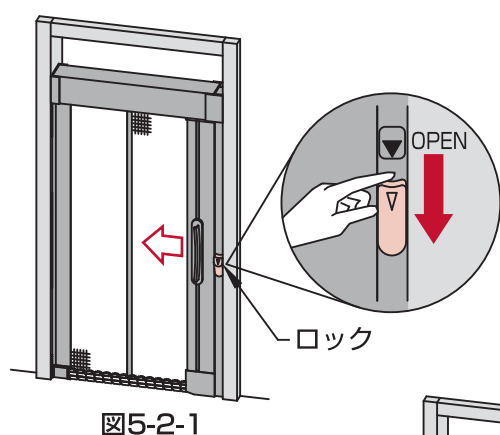
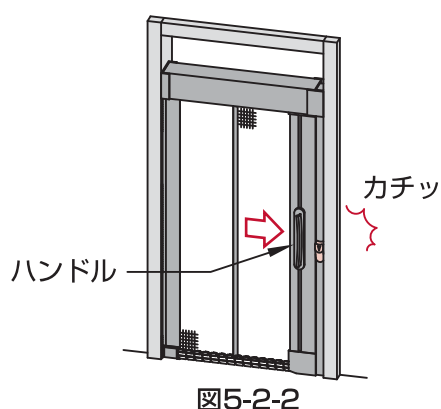



図5-2-1

図5-2-2

①ロックを解除して、網戸が自動収納することを確認してください。（図 5-2-1）

※網戸が自動収納されない場合は15ページ「トラブルシューティング」を参照してください。

②ハンドルに手をかけて、再度スライドバーを引き出して、ロックが掛かることを確認してください。（図 5-2-2）

※ロックがうまく掛からない場合は15ページ「トラブルシューティング」を参照してください。

取付手順 ⑥調整枠の取付

6 -1 取付場所の採寸

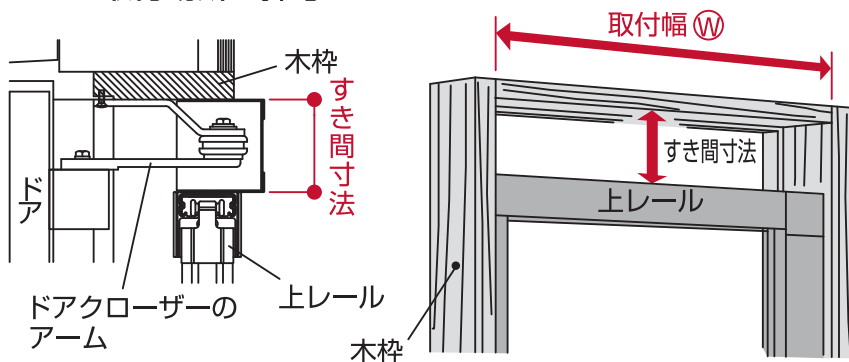



図6-1

上レールと木枠の「**取付幅W**」及び「**すき間寸法**」を測ってください。（図 6-1）

6 -2 部材の切断

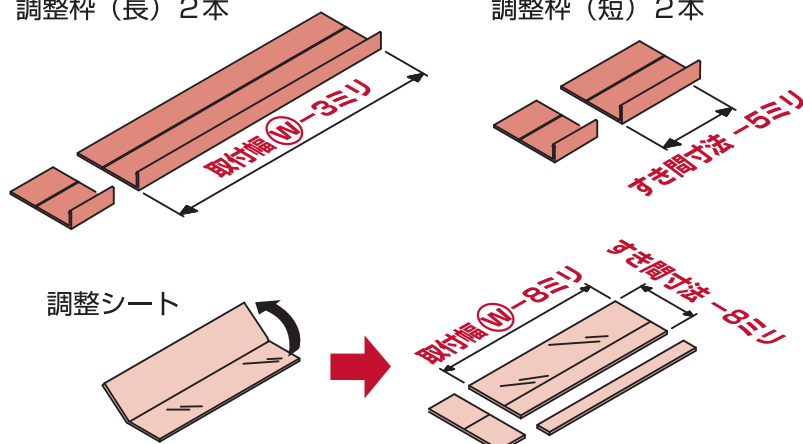



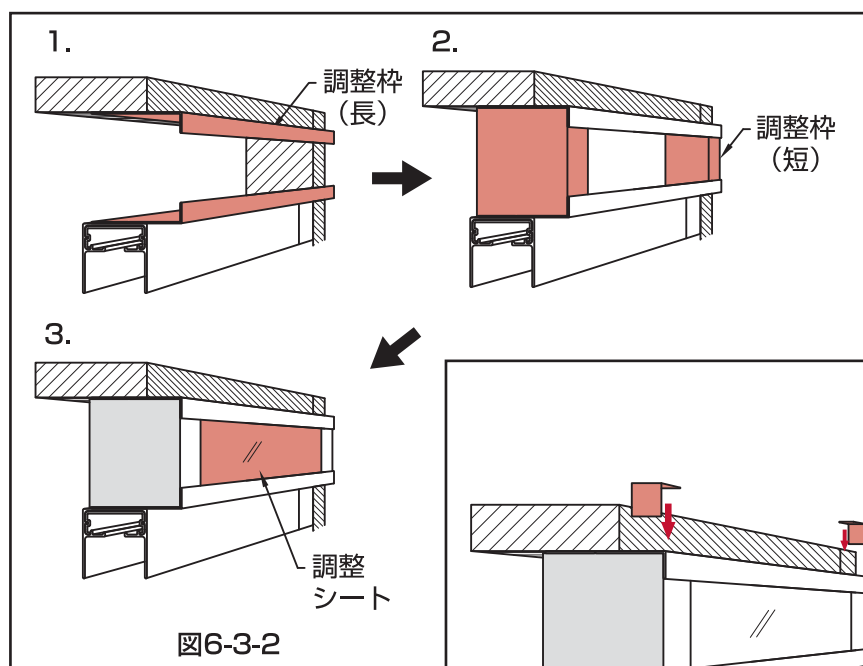
図6-2

「**取付幅W**」と「**すき間寸法**」に合わせて部材を切断してください。

各部材のサイズは図6-2をご参照ください。

6 -3 調整枠の取付

図6-3-2

図6-3-3

①調整枠のハクリ紙をはがす前に、一度取付確認をしてください。

※ドアクローザーの金具にあたって調整枠が入らない場合は、調整枠に切り込みを入れて、金具があたらないようにしてください。（図 6-3-1）

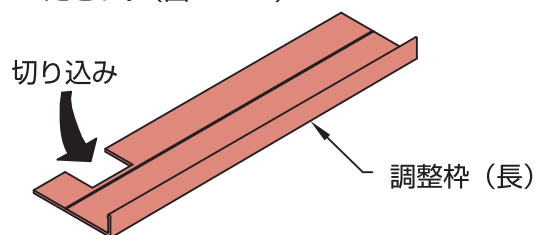
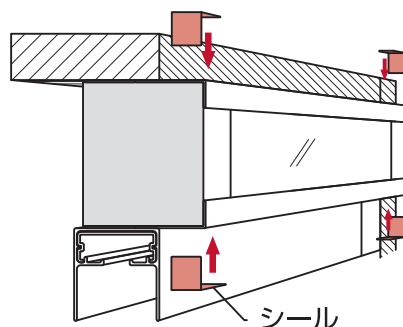
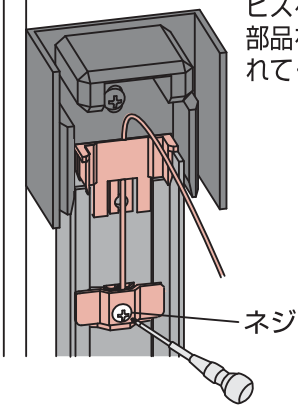
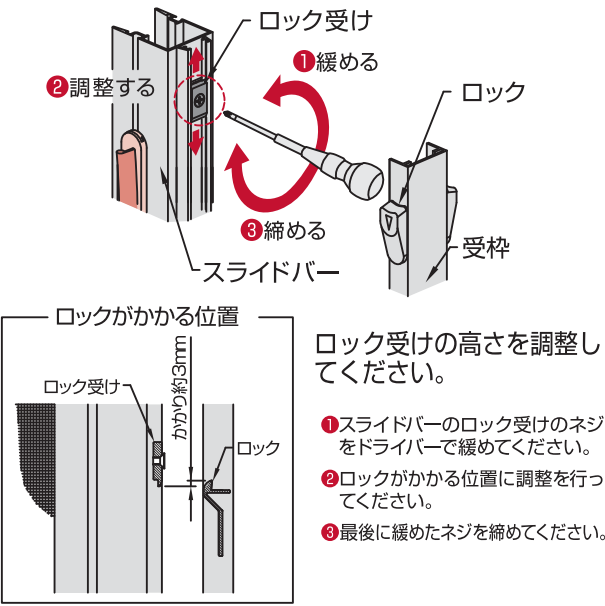
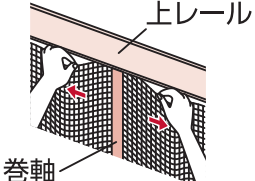
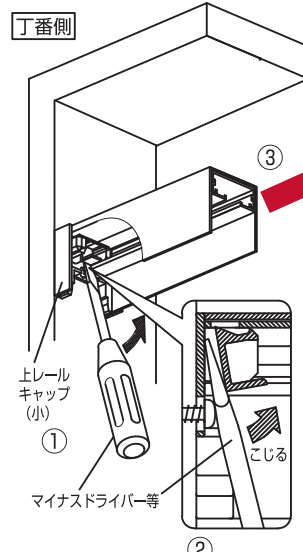
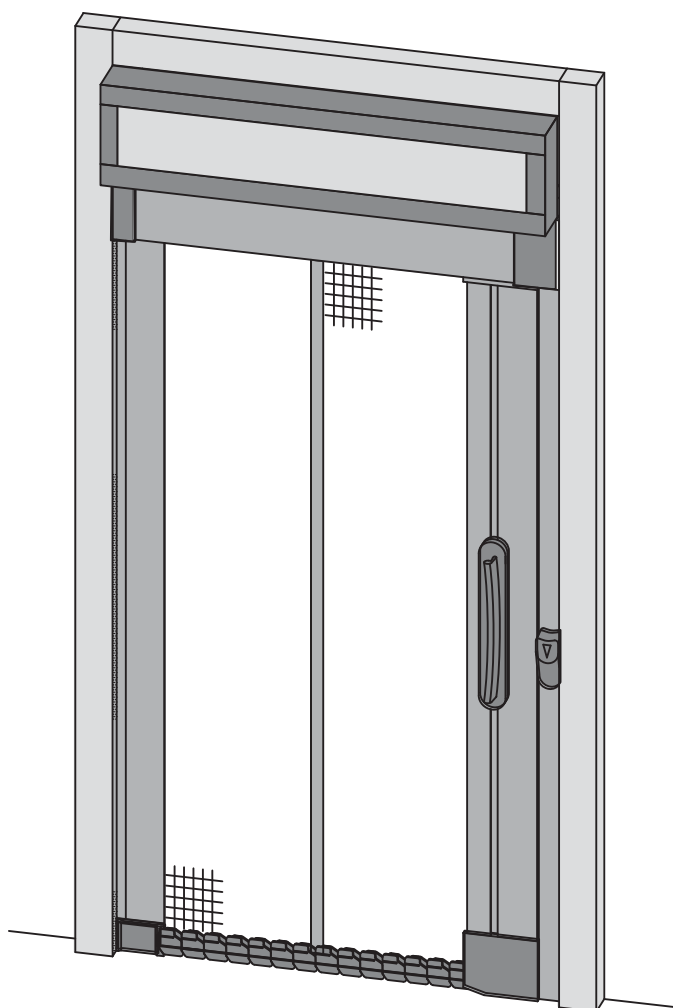



図6-3-1

②調整枠のハクリ紙を２枚ともはがし、1. 調整枠（長）2. 調整枠（短）3. 調整シートの順に貼り付けてください。（図 6-3-2）

※調整シートは内側から貼付けてください。

③調整枠の四隅に隙間が出来る場合は、同梱のシールを必要に応じて切って使用してください。（図6-3-3）

※調整枠の内側・外側どちらに貼ってもかまいません。

完成図

トラブルシューティング

状態	原因	対策	取付説明書内参照手順
上レールの取付けが出来ない。	上レールキャップ（大）（小）が逆についている。	丁番側･ドアノブ側と上レールキャップ(大)･(小）の位置を確認し、再取付してください。	❷ -2 ❷ -3
	上レールが長い。	長さを確認し、再カットしてください。	❸ -6-2
補助支柱のネジが入らない。	補助支柱のネジを使っていない。	網戸に梱包されている木ネジではなく補助支柱に同梱されているビスを使用してください。	❷ -4
受枠キャップが受枠に入らない。	−	ビスを緩めて上下の部品を順番に溝にいれてください。 ネジ	❸ -4

状　　態	原　　因	対　　策	取付説明書内参照手順
ロックがうまくかからない。	ロック受けの位置がずれている。	ロック受けの高さを調整してください。 ❶スライドバーのロック受けのネジをドライバーで緩めてください。 ❷ロックがかかる位置に調整を行ってください。 ❸最後に緩めたネジを締めてください。	
	受枠が床面から浮いて取付けられている。	床面に突き当てて、再度取付けてください。	2 -4
	受枠が曲がって取付けられている。	平行になるように、再度取付けてください。	2 -4
	下レールが受枠の中央になっていない。	下レールの両面テープをきれいにはがし、受枠の中央になるように再度貼付けてください。	3 -3
	ワイヤーを引っ張りすぎている。	ワイヤーを、たるまない程度まで緩めるように再度調整してください。	4 -1
網戸の動きが悪い。	スライドバーが斜めになっている。	ワイヤーを調整してください。	4 -1
	上レール内の戸車又は下レールの滑りが悪い。	上レール及び下レールに潤滑油（市販のシリコーン性）を吹き付けてください。油がついた場合は布で拭き取ってください。	
ネットにしわが出来る。	ネットの上部が折れて巻き取られている。	図のように、一旦、網を広げてシワを取り、巻軸に巻き取らせてください。	
上レールからワイヤーがたれている。	ワイヤーがゆるい。	ワイヤーを調整してください。	4 -1
ロックを外してもネットが自動収納されない。	上戸車にワイヤーが絡んでいる。	上戸車にワイヤーが絡んでいないか確認してください。	3 -5
上レールキャップ（小）から上レールを外したい。	ー	①上レールキャップ（小）の下部にマイナスドライバーを差し込んでください。 ②マイナスドライバーを図のように手前にこじりながら、上レールを引っ張ってください。	

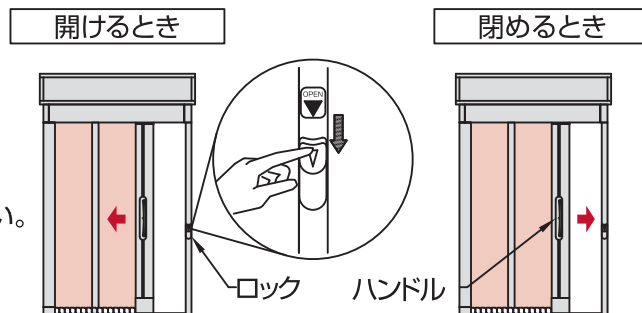
取扱説明書　ご使用の前にこの説明書を必ずお読みの上、製品を安全にご使用ください。

■使用上のご注意

●網戸を開ける時はロックを下げ、閉める時はスライドバーのハンドル部に手をかけて行ってください。

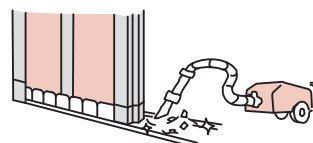
●本製品は自動収納ですが、下レールにごみが詰まったり、風などにより網戸が戻らない場合が有ります。
そのような時には、ハンドルに手をそえて戻すようにしてください。

●強風時にはご使用にならないでください。

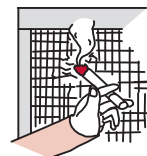
開けるとき　閉めるとき
ロック　ハンドル

■お手入れ方法

●ハタキなどで軽くホコリを取り除いた後、柔らかい布、またはスポンジで水洗いしてください。

●汚れがひどい場合は、中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、またはスポンジで洗ってください。
次に、真水で洗い流し、必ずカラ拭きしてください。
（酸性・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。）

●下レールとその周辺の砂やホコリは掃除機などでこまめに取り除き、きれいにしてください。

ネットを強く押さないように洗ってください。

⚠注意

●網戸に寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれや落下、転落事故などにつながり、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
●無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬケガの原因になります。開閉操作はゆっくり行ってください。
●網戸を開ける際、本体ケースとスライドバーに指をはさむとケガの原因となることがあります。お子さまには特にご注意ください。
●本製品のロックは防犯には役立ちません。外出の際は、必ずドアを施錠してください。

■お願い

●長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時にはこまめに収納するようにしてください。
●変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
●たわし、金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。破損やキズの原因になります。
●犬や猫などのペットが、爪でネットを引っかけないようにご注意ください。
●お子さまが本製品で遊ばないようにご注意ください。
●タバコの火などの火気は絶対にネットに近づけないようにご注意ください。

右記ＱＲコードより、取付方法の動画と商品の詳細をご覧いただけます。

PC 用 URL
http://www.amido.jp/product/amidoya_ichiban/

セイキ販売
東京☎03(5999)5820(代) 大阪☎06(6780)1700(代) 仙台☎022(287)5111(代) 名古屋☎052(503)7811(代) 福岡☎092(513)0250(代)
メールでのお問合せは info@seiki.gr.jp